

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2025年7月2日
第18号

野球部 準決勝で惜敗



奥沢グラウンドで

1回戦（6月26日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	計
岩寿蘭農	0	0	0	0	0	0
双葉	0	4	1	4	1×	10

投手・捕手 佐治 鶴来

2塁打 佐治（2回）、本間（4回）、伊藤（5回）

佐治映芳くん「1回戦はボールが多かったが、要所で締めることができたので70点。準決勝は8、9回を後藤大成くんと組んで投げ、守り切れたので満点です。」

準決勝（6月28日）桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
俱知安	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
双葉	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4

投手・捕手 近藤・平野（5回）・高橋（7回）・佐治（8回）-鶴来・後藤（8回）

3塁打 本間（3回）

2塁打 高杉（1回）、本間（6回）

主将の後藤大成くんは準決勝について「序盤、5回まで自分たちのペースで試合を運ぶことができた。決勝を見据えて、継投になってから点を取られたが、挽回を狙い、ランナーを出すもチャンスで得点できず、悔しい結果となった」と語る。

決勝進出、全道へ進むことを目標に一丸となって戦ってきただけに、現実を受け入れることは難しかった。2年生は「先輩と一緒に少しでも長く野球を」と唱えてきたが、今度は2年生がチームの中心となる。

6つのゼミが課題を解決

ドリゼミ発表会

6月30日、3年生の6つのゼミの代表者が全校生徒に研究成果を発表した。2年生の時に学んだドリプロをベースに、実際にある課題を見つけ、分析し、解決方法を示した。創意あふれる提案に引き込まれた。

ネットで見学プランを提案 「小樽旅行ノープラン」 ビジネス・マーケティング

中橋乃蒼・藤川真土・大塚翔太・山谷愛花・西野大翔



小樽の観光客は、個人旅行が多く、ネット情報を活用している

小樽の観光要素を知ってもらいためにサイトを立ち上げる。検索すると年齢や趣味に合ったプランが提示される。その中でスタンプリーを実施し、

プラン1・歴史×スイーツ（美園→あまとう→芸術村→嶋谷カフェ→ルタオ）

プラン2・運河×海鮮（運河→クルーズ→ビール醸造所→美術館2館→政寿司）

サービス券を入手できるようにして惹きつける。上に示した2つのプランを提示した。

コンビニ食を食べ続けると… 「教えて！大島先生」

高橋乙・澤田桃伽・宮下美羽・山本侑来



大島岳晴先生の6日間の昼食の栄養素を分析。健康面の危険性を指摘、改善策を提案した。例えば、ロースカツカレー・キャベツの浅漬け・プリン・ミルクティーを摂取すると、塩分、脂質、炭水化物、糖分の摂取過多となる。塩分は身体のみくみ、胃がん、骨粗鬆症を



引き起こし、脂質・炭水化物は肥満や生活習慣病の原因になり、糖分は肌の老化、粘液力低下、うつ病を発症させる。

健康改善のために3つの提案がなされた。①水、茶の摂取 ②スイーツは3日に1回に ③減塩する。大島先生（写真右）の食生活が改善され、健康な生活を送れますように。

歯科医受診をもっと身近に 「歯医者さんにスーパー感覚で通おう」



医療・福祉
宮島有紗・宮崎由唯



高校生の虫歯保有率は49%。それでも痛くなるまで歯医者にかからない人が多いのではないかと。歯科受診を遠ざけないための具体策が示された。①歯科にガチャガチャを置き、使えるようにする

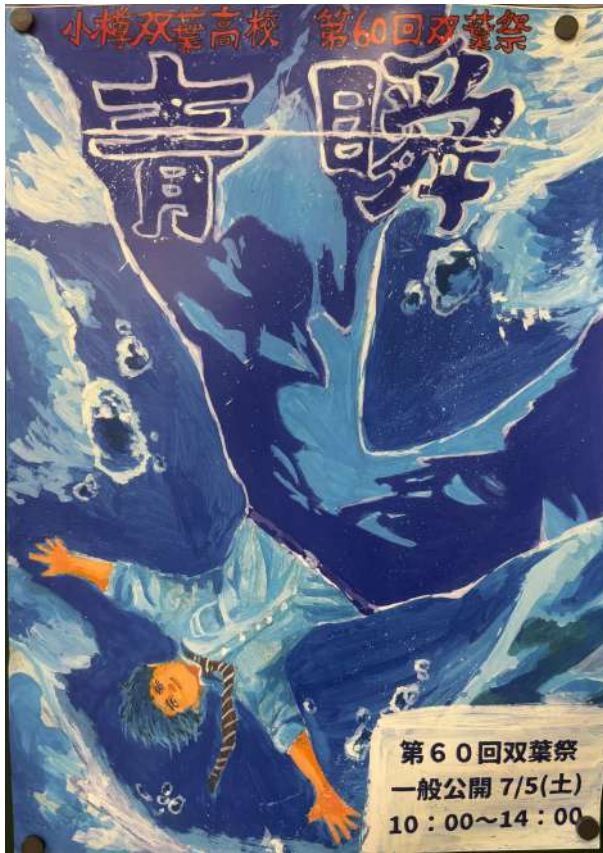
↓子どもが喜ぶ。②歯医者に通い、ポイントのため、景品をもらえるようにする。

また、大人の健康診断の中に、歯科検診が含まれていないが、これを健康診断の項目に入れると、歯科有給休暇が取れる。また、歯周病の予防に役立ち、歯石クリーニングもできる。

医療費助成カードの利用も勧めた。例えば、小樽市は18歳まで、医療費は初診510円、以降は無料となっている。歯医者に通おうと思えたら、プレゼントは成功だ。

第60回双葉祭

ポスター、うちわ制作者を紹介



ポスター制作
3年3組 多田 欽



「テーマに沿って青を基調に1ヶ月ほどかけて描きました。」

美術部部長として高文連の作品制作にも一生懸命励んでいる多田くんです。



うちわデザイン 3年3組 瀧上萌友
「テーマの「青瞬」のイメージ、煌めきを表で出せるように、裏はテーマソングであるHAPPINESS (嵐) の文字もあしらいました。」

と、昼間の混雑を緩和できる。



近年、観光客増加が地域や環境に悪影響を与えることがクローズアップされている。小樽でも朝里駅の事故、船見坂での迷惑行為(上写真)が記憶に新しい。これに4つの解決策を提示した。

①分散化 例えば夜間に自然や星空を楽しめる。運河と桃岩の歴史紐解く「忍路周辺ジオパーク認定をめざす」サイエンス

菅原陸斗・久保惺周

②バーチャル観光 コストを抑え、時差に関係なく、移動の間もかからない。

③入場者数や時間帯の制限 たとえば、スイスではダイナミックプライシング(週末料金の値上げなど)やビッグデータ活用により混雑緩和に努めている。インフルエンサーの活用など情報発信も大切だ。



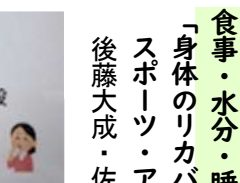
④制度改革 観光ビザ値上げなど、政治的な問題がある。私たちが政治に関心を持ち、選挙公約を見て投票することを意識したい。



道内では有珠山や十勝岳がジオパークに認定されている。忍路周辺の地質は海底火山が隆起し、陸上で見られる大変貴重なものであるが、地域での認知度は低く、保全活動もなされていないので、ジオパーク認定までに活動が必要だ。そこで地域で地質の人材を育成し、保全活動をする具体案を提示した。

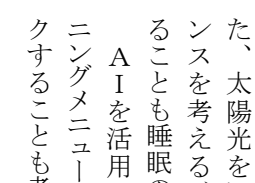


「小樽運河と桃岩と倉庫の様子」

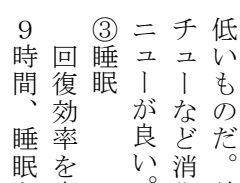


「身体のリカバリー手段」

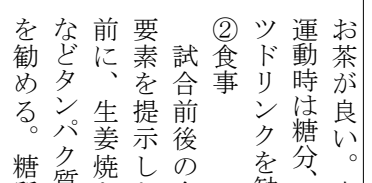
岩の歴史を紐解くツアー」と題し、小学生の夏休みのイベントとして企画する。忍路の桃岩が運河倉庫に使われてきた経緯がわかるものだ。忍路周辺の地質の価値を再認識し、保全、普及活動を身近なところから始める提案だ。



波木ひなこ・本間丞之輔 スポーツ選手 の疲労回復方法を3つの観点から研究した。



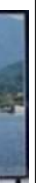
①水分補給 運動中は水や



②睡眠 回復効率を高めるには、8〜9時間、睡眠を取ると良い。また、太陽光を浴びる、栄養バランスを考える、適度な運動をすることも睡眠の質を上げる。AIを活用し、献立、トレーニングメニュー、睡眠の質をチェックすることも考えられると良い。

観光と地域の両方を活かす「オーバーツーリズムの課題と解決策」グローバル・カルチャー

③入場者数や時間帯の制限



岩の歴史を紐解くツアー」と題し、小学生の夏休みのイベントとして企画する。忍路の桃岩が運河倉庫に使われてきた経緯がわかるものだ。忍路周辺の地質の価値を再認識し、保全、普及活動を身近なところから始める提案だ。

お茶が良い。高温時、長時間の運動時は糖分、塩分補給にスポーツドリンクを勧める。



②食事 試合前後の食事で補給すべき要素を提示した。試合の3時間前に、生姜焼きやしゃぶしゃぶなどタンパク質が摂れるメニューを勧める。糖質が高く、脂質が低いものだ。試合後は豚汁やシチューなど消化吸収しやすいメニューが良い。